

南区アートシーズン冬

キオクノ カタチ

—流れゆく時間と風景を記憶し続ける映像—

—リアルな過去と不確実な今を表現する舞台—

—子どもの頃に見た夢を

モノクロームの原風景として定着する写真—

南区ゆかりの3人のアーティストによるアートイベントを開催します。

期間中は常設展として写真や映像、舞台関連の展覧会、土日には特別な舞台の上演や映画の上映会も。その他、ワークショップやカフェなど、大人から子どもまで楽しめるイベントも同時開催します。

入場無料

会期：令和7年1月25日(土)～2月9日(日)

開館時間 10:00～16:30 ※月～水曜日は休館

場所：まこまる

(札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2・旧真駒内緑小学校)

※まこまる駐車場はご利用できません。公共交通機関でお越しください。

※地下鉄南北線・真駒内駅より徒歩5分、バス停・南区役所前より徒歩5分

キオクノカタチ

出演者

俳優 柴田 智之（しばた ともゆき）

俳優 / アーティスト・介護福祉士 / 児童指導員として福祉と創作の兼業で生活している。2000年から絵画・陶芸制作、楽曲制作や身体表現での上演、戯曲制作 / 演出 / 自主公演・客演、自他作品を企画・上演するなど、ひとつの役割や表現方法にとらわれない活動を展開し続けている。

映像作家 早川 渉（はやかわ わたる）

映画監督 / CM ディレクター。名古屋で生まれ青春時代を札幌で過ごす。

処女長編映画「7/25【nana-ni-go】」（1998年）がカンヌ国際映画祭に選出。CMは「登別くま牧場」「セイコーマート」など多数。東海大学札幌キャンパスで後進の指導にもあたっている。

写真家 前澤 良彰（まえざわ よしあき）

札幌を拠点に活動。1982年の「SYASHIN-SOUCHI Vol.1」を皮切りに2023年の「未視感 / 既視感」まで個展を開催。グループ展にも積極参加し、近年では2022年に渋谷俊彦、細木るみ子との3人展「-見えるもの・見えざるもの-」や「前澤氏の原風景」などに参加。視覚的な表現を通じて深い思索を促す。

同時開催イベント

※各イベントの詳細はこちら



●1/25(土)14:00～15:30

【連携企画】滞在制作報告会ーメキシコの精神文化ー南区アートシーズンのフライヤーを手掛ける映像作家・小林大賀による写真、映像を用いたプレゼンテーション。(定員80名・先着順)

●1/26(日)10:00～12:00、13:00～15:00

柴田智之による子ども向けワークショップ「キオクノカタチをつくろう」
アーティストと一緒に布や木の棒、絵具などを使って自分の思い出を作ってみよう！作った思い出は2/9(日)の演劇の舞台セットの一部に使われます。
(同時参加定員10名・途中入退室自由)

●2/1(土)・2/2(日)14:00～16:00

早川渉監督作「7/25【nana-ni-go】」(16ミリ・英語字幕付き)の上映・トークショー(定員80名・先着順)

●2/8(土)・2/9(日)13:00～ 前澤良彰・在廊

●2/9(日)14:00～15:30

演劇「小さな幸せ」ほか。出演:柴田智之、かとうしゅうや、田中宏典。(定員100名・先着順)

●1/11(土)～3/2(日)11:00～16:00

【連携企画】芸森ワーサム(芸術の森3丁目)にて、スノーキッズバイクのコースや滑り台など子ども向けの雪遊びイベント開催。※積雪状況により開催期間変更の可能性あり。詳細は芸森ワーサム Instagram (@geimori_w_awesome) から。

会期中の土日はカフェも出店します。

ミナミナク・アートプロジェクトは、南区ゆかりのアーティストらの協力のもと、アートのかで心豊かで魅力あるまちづくりに取組む南区の事業です。四季それぞれに美しい景観を見せる南区のように、様々なジャンルのアートイベント「南区アートシーズン」をお届けしています。
※ミナミナクは、南区(ミナミク)とアイヌ語のミナ(笑顔)・ク(私)からなる造語。



ミナミナク・アートプロジェクト

主催：ミナミナク・アートプロジェクト実行委員会
(事務局：南区地域振興課 011-582-4723)

SAPPORO



さっぽろ市
02-Q01-24-2388
R6-2-1557